

の高い路線の整備を優先的に取組む必要があります。

- ・市街地の水害対策、景観整備のため、河川改修を促進する必要があります。
- ・下水道の一層の整備を推進する必要があります。

(3) 自然環境、景観と防災、その他の課題

- ・平田本陣記念館や木綿街道など、歴史を感じる景観資源の整備・活用が望まれます。
- ・安全で安心な市民生活を実現するため、河川整備を優先的に進めるとともに、土砂災害や地震災害への対応も強化する必要があります。

3. 平田・中央地域のまちづくりの方針

(1) 地域の将来像

**～魅力ある都市機能が備わった
賑わいや水辺の潤いを感じる 平田・中央地域～**

都市計画道路・河川・下水道等の都市基盤整備、産業の集積、良好な住宅環境など、魅力ある都市機能が備わった賑わいの地域づくりを進めるとともに、宍道湖や斐伊川等の良好な水辺環境を活かした、潤いある地域づくりを推進します。

(2) 地域のまちづくりの方針

1) 土地利用に関する方針

商業・業務地

- ・平田環状線内側の中心商店街の活性化を図るとともに、平田環状線の外側の中ノ島新市街地の商業環境の維持に努めます。

住宅地

- ・住宅地においては、今後とも居住環境の維持に努め、住居系土地利用を誘導します。
- ・市街地中心部の木造住宅が密集する地域では、都市計画道路や河川事業の推進に合わせ、安全で快適な住宅地の形成を推進します。
- ・区画整理地区内は、住宅系の土地利用を誘導し、良好な住宅地の形成を推進します。

工業地

- ・市街地南西部の工業地においては、工場の操業環境を維持します。
- ・工業系用途地域において既に住宅地が形成されている地区では、工場の操業環境に留意しつつ、必要に応じて住居系土地利用への転換を図ります。

福祉拠点

- ・総合医療センターを中心とする地区を福祉拠点と位置づけ、基盤整備を進めるとともに福祉拠点にふさわしい土地利用を誘導します。

農住共生地

- ・宍道湖湖西の平野部に広がる優良農地の保全を図るとともに、集落や住宅については農地と共存しつつ確保します。

2) 都市施設等に関する方針

道路・交通

- ・地域高規格道路 境港出雲道路の実現を目指すとともに、国道 431 号の整備を促進します。
- ・(都)中町瑞穂大橋線や、中ノ島新市街地と地域中心部を結ぶ(都)元町中の島線の整備を推進するとともに、優先順位を検討しながら未整備の都市計画道路の整備を推進します。
- ・雲州平田駅～総合医療センター～文化館のアクセス道路の歩道整備を推進します。
- ・地域内の幹線市道は、幹線市道整備 10 力年計画に基づき整備を行います。また、生活に密着した道路を主体に、生活環境道路改良事業により整備を行います。
- ・公共交通機関の維持・存続に向けて、住民・事業者・行政が一体となった利用促進に努めます。

公園・緑地

- ・愛宕山公園、平田森林公園等の機能を維持し、利用促進を図ります。

河川・下水道

- ・平田船川及び湯谷川は、住民の理解を得ながら河川改修事業を促進します。
- ・雲州平田船川は、河川環境に配慮した市街地河川として整備を促進します。
- ・公共下水道や合併処理浄化槽の整備を推進し、河川の水質浄化や住環境の向上を図ります。
- ・国富、口宇賀、西岸地区においては、農業集落排水整備が完了し、今後とも施設の適正な維持・運営を図ります。

3) 自然環境、景観と防災等に関する方針

自然環境

- ・斐伊川・平田船川・湯谷川の自然環境の保全を図るとともに、市街地内の公園や社寺の樹林地や愛宕山周辺の緑地の保全に努めます。
- ・宍道湖や斐伊川などにおける水辺の動植物の生息環境やビオトープ機能を有する田園の保全に努めます。

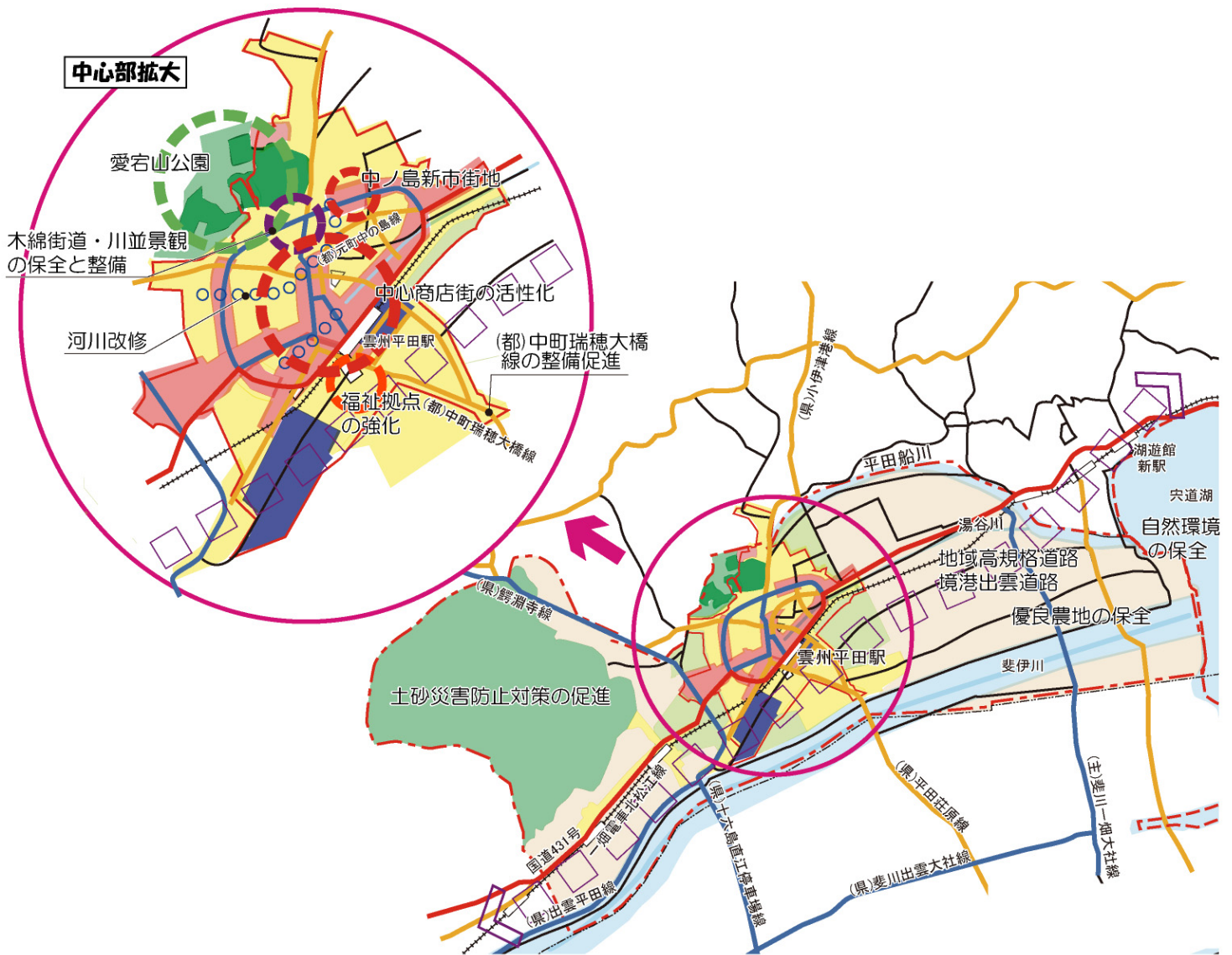
景観

- ・中心市街地や商業拠点の景観整備に努めるとともに、都市計画道路の整備に合わせ、街路樹等の緑化や景観整備を図ります。
- ・中ノ島新市街地一帯は、良好な景観の維持に努めます。
- ・平田船川、湯谷川の河川を活かした景観の整備を図るとともに、雲州平田船川の沿川及び木綿街道に残る古い街並みの整備・保全を図ります。

防災

- ・平田船川及び湯谷川の河川改修事業の早期完了を促進し、水害のない市街地の形成を目指します。
- ・砂防指定地における土砂災害防止対策を促進します。
- ・消防分署を移転新築し、消防力の強化・充実を図ります。

平田・中央地域まちづくり方針図



0 1.0 2.0km



凡 例

- 地域界
- 都市計画区域
- 用途地域

○土地利用

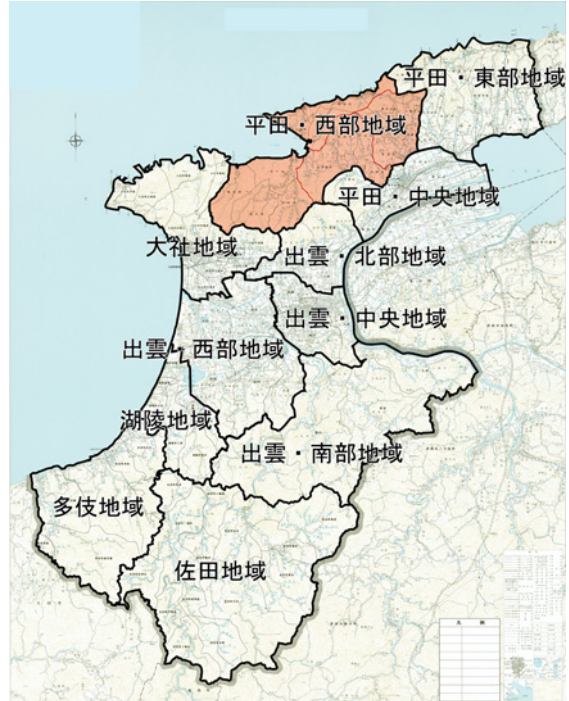
- 一般住宅地
- 商業・業務地
- 工業地
- 公園
- 農地
- 農住共生地
- 森林
- 河川

○交通

- 地域高規格道路
- 主要幹線道路
- 幹線道路
- 補助幹線道路
- その他の主な道路
- 一畑電車

1. 平田・西部地域の現況

- ・平田・西部地域は、出雲市の北部に位置し平田東部、平田中央、出雲北部、大社地域に接し、北を日本海に面しています。
- ・平田・西部地域の人口は、平成 17 年国調で 6,618 人と、出雲市の約 4.5% となっています。平田・西部地域の人口は、減少傾向となっており、特に沿岸部で人口が大きく減少しています。
- ・平田・西部地域は、河下港周辺を除く日本海沿岸部と山間部の一部を除き、都市計画区域に指定されており、一部、用途地域が指定されています。
- ・地域内陸は山林が大部分を占め、農地や農村集落は、河川支流の沢や県道沿いに立地し、点在する入り江では漁港を中心に漁村集落が形成されています。
- ・久多美地区、西田地区に優良農地を含む田園が面的に広がり、河下地区には港湾が整備され、工業団地が形成されています。
- ・日本海に面する島根半島の北岸は、リアス式海岸が展開し、変化に富んだ海岸の景観や特徴的な漁村景観を有しています。
- ・地域南西部の森林一帯は、宍道湖北山県立自然公園に指定され、鱈淵寺には多くの観光客や参拝客が訪れています。



2. 平田・西部地域の課題

(1) 土地利用の課題

- ・優れた自然や景観などを活かした、集落の住環境の向上が望めます。
- ・特定地域振興重要港湾指定港である河下港は、県東部地区における主要な物流拠点港としての発展が望めます。
- ・宍道湖北山県立自然公園や鱈淵寺などの歴史観光資源を活用した賑わいづくりが望めます。

(2) 都市施設等の課題

- ・河下港の港湾機能の強化に向けた道路及び斐川 I、C との連携強化に向けた道路の整備が望めます。

- ・ 集落間を連絡する生活道路や観光施設へ至る道路は、安全性の向上が望まれます。
- ・ 下水道の一層の整備推進を図る必要があります。

(3) 自然環境、景観と防災、その他の課題

- ・ 宍道湖北山県立自然公園に指定された山林の保全と適正な管理、十六島鼻一帯の自然環境の保全、美しい自然海岸が続く猪目・河下・布勢灘一帯の環境保全と活用促進が望まれます。
- ・ 土砂災害や地震災害への対策強化、地すべり、急傾斜地崩壊危険地域への対応が必要です。
- ・ 松くい虫による松枯れ、シカによる農林業被害、イノシシによる農作物被害が発生していることから、対策が必要です。

3. 平田・西部地域のまちづくりの方針

(1) 地域の将来像

**～美しい緑に囲まれ、日本海の恵みや歴史の趣を感じる
住みよい平田・西部地域～**

日本海沿岸の美しい自然や景観、鱈淵寺周辺の歴史観光資源、を保全・活用しながら、生活基盤整備等により集落の住環境の向上を図り、自然と共生しながら住み続けられる地域づくりを推進します。

(2) 地域のまちづくりの方針

1) 土地利用に関する方針

河下港

- ・ 県東部の海上交通の玄関口である河下港は、物流拠点港湾としての利用促進を図ると共に、河下港臨海工業団地への企業立地促進を図ります。

集落地

- ・ 田園緑地・山間緑地ゾーンや海岸沿いに立地する集落地は、集落環境を保全するとともに生活道路の充実等、良好な生活環境の形成に努めます。

農地

- ・ 谷あい及び盆地などの緩やかな傾斜に立地する農地の保全に努めます。

2) 都市施設等に関する方針

道路・交通

- ・ (主) 斐川一畑大社線は、集落間を結ぶ陸上交通網としての整備、狭小区間の整備を促進

します。また、(県)十六島直江停車場線について、狭小区間の整備を促進します。

- ・(県)鱒淵寺線、(県)十六島直江停車場線、(県)斐川上島線について、河下港と斐川ICを結ぶ路線として整備を促進します。
- ・地域内の幹線市道は、幹線市道整備10カ年計画に基づき整備を行います。また、生活に密着した道路を主体に、生活環境道路改良事業により整備を行います。
- ・公共交通機関の維持・存続に向けて、住民・事業者・行政が一体となり公共交通の利用促進に努めます。

公園・緑地

- ・風力発電施設立地に伴い、新エネルギーの普及啓発と地域の活性化を図るため、十六島風車公園を整備します。

河川・下水道

- ・平田船川の上流部において河川改修を促進します。
- ・合併処理浄化槽の整備を推進し、河川の水質浄化や住環境の向上を図ります。
- ・美保地区においては、小規模集合排水処理施設整備事業の導入を検討します。
- ・下水道整備が完了した地区では、今後とも施設の適正な維持・運営を図ります。

その他

- ・河下港は、県東部地区の海の物流拠点機能として、利用促進に向けた施設整備を促進します。

3) 自然環境、景観と防災等に関する方針

自然環境

- ・十六島鼻などの自然海岸、地域を東西につらなる山林について、保全に努めます。特に、宍道湖北山県立自然公園内の自然環境の保全に努めます。

景観

- ・水辺の貴重な景観資源として、平田船川の河川景観の保全・整備を図ります。
- ・市街地周辺の緑豊かな景観を形成している愛宕山公園一体の自然景観を保全します。
- ・風力発電関連道路の活用を図ると共に、道路法面の緑化等による景観維持に努めます。
- ・中国自然歩道において、眺望ポイントなどの整備を検討します。

防災

- ・集落地周辺の地すべり、急傾斜地や砂防指定地などにおける土砂災害の防止対策を促進します。

その他

- ・湖北山地に立地する日本最大級の風力発電所等を活かし自然エネルギーの普及・啓発に努めます。
- ・松くい虫被害対策については、出雲市松くい虫防除対策基本方針、シカ被害対策については、出雲市シカ対策基本計画に基づき、対策を実施します。

平田・西部地域まちづくり方針図



凡 例

- | | | |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 地域界 都市計画区域 用途地域 ★ 歴史的・文化資源 | <p>○土地利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般住宅地 工業地 公園 農地 森林 河川 | <p>○交通</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域高規格道路 主要幹線道路 幹線道路 補助幹線道路 その他の主な道路 一畑電車 |
|---|--|--|

平田・東部地域（檜山、東、佐香、伊野）

1. 平田・東部地域の現況

- ・平田・東部地域は、出雲市の最北部に位置し、北を日本海、東を松江市、南を宍道湖に面しています。
- ・平田・東部地域の人口は、平成 17 年国調で 7,681 人と、出雲市の約 5.2% を占めています。平田・東部地域の人口は、減少傾向となっており、全ての地区で人口が減少しています。
- ・平田・東部地域は、日本海沿岸部と山間部の一部を除き、都市計画区域に指定されています。
- ・平田・東部地域は、山林が大部分を占めており、農地や農村集落が谷あいや県道沿いに見られ、入り江では漁港周辺に集落が形成されています。
- ・山間部を東西に繋ぐ市道平田松江幹線をはじめ、平田中心部と結ぶ県道および日本海沿岸地域を結ぶ県道が主要な生活道路となっています。
- ・宍道湖西岸には、体験学習型水族館「ゴビウス」や「湖遊館」などの交流施設が立地しています。
- ・日本海沿岸部のリアス式海岸が展開する美しい自然や、観光入込み客数の多い「一畑薬師」（宍道湖北山県立自然公園区域内）といった歴史・文化資源があります。



2. 平田・東部地域の課題

(1) 土地利用の課題

- ・優れた自然や景観などを活かした、集落の住環境の向上が望めます。
- ・宍道湖北山県立自然公園や一畑薬師などの歴史観光資源を活用した賑わいづくりが望めます。
- ・宍道湖西岸（宍道湖グリーンパーク、ゴビウス、湖遊館）は、宍道湖の良好な環境を活かし、スポーツ、野外レクリエーションなどを通じた、交流・学習拠点としての充実が望めます。

(2) 都市施設等の課題

- ・「宍道湖西岸親水ふれあい拠点」や「東部工業団地」と平田中心部とをつなぐ道路整備の

検討が望まれます。

- ・出雲～境港を結ぶ、国道 431 号線や地域高規格道路境港出雲道路の整備促進が課題です。
- ・下水道の一層の整備推進を図る必要があります。

(3) 自然環境、景観と防災、その他の課題

- ・宍道湖北山県立自然公園や、多くの観光客が訪れる「一畑薬師」周辺の保全と環境整備が望まれます。
- ・宍道湖湖畔の美しい景観の保全が望まれます。
- ・土砂災害や地震災害への対策強化、地すべり危険地域への対応が必要です。

3. 平田・東部地域のまちづくり方針

(1) 地域の将来像

**～日本海や宍道湖の恵みや歴史の趣を感じる
住みよい平田・東部地域～**

日本海や宍道湖の美しい自然と景観や、一畑薬師といった歴史資源などを保全・活用しながら、湖西地域の観光拠点としての一層の整備と、生活基盤整備等による集落の住環境の向上を図るなど、自然の恵みを感じながら、人々が集い、暮らせる、潤いのある地域づくりを推進します。

(2) 地域のまちづくりの方針

1) 土地利用に関する方針

集落地

- ・田園緑地・山間緑地ゾーンや海岸沿いに立地する集落地は、集落環境を保全するとともに生活道路の充実等、良好な生活環境の形成に努めます。

工業地

- ・地域産業の活性化及び新たな雇用創出を図るため、東部工業団地への企業立地を促進します。

宍道湖西岸

- ・宍道湖グリーンパーク、ゴビウス、湖遊館などの施設が集まる宍道湖西岸は、広域的な交流拠点として、既存施設を活用していき、周辺環境の維持に努めます。

農地

- ・谷あいや盆地などの農地や平田船川沿いに広がる農地は、農業生産の場として維持及び保全に努めます。

2) 都市施設等に関する方針

道路・交通

- ・地域高規格道路境港出雲道路の実現を目指すとともに、国道 431 号の整備を促進します。
- ・(主) 斐川一畑大社線は、集落間を結ぶ陸上交通網としての整備、狭小区間整備を促進します。
- ・地域内の幹線市道は、幹線市道整備 10 力年計画に基づき整備を行います。また、生活に密着した道路を主体に、生活環境道路改良事業により整備を行います。
- ・公共交通機関の維持・存続に向けて、住民・事業者・行政が一体となった利用促進に努めます。

公園・緑地

- ・宍道湖グリーンパーク、宍道湖～湖西拠点～斐伊川のサイクリングロードの利用促進に努めるとともに、同サイクリングルート of 延伸整備を促進します。

河川・下水道

- ・合併処理浄化槽の整備を推進し、河川の水質浄化や住環境の向上を図ります。
- ・三津、小伊津地区については、今後とも漁業集落排水施設の適正な維持・運営を図ります。坂浦、西地合地区においては、漁業集落排水施設の整備を推進し、海域の水質浄化や住環境の向上を図ります。
- ・布崎地区においては、農業集落排水施設の適正な維持・運営を図ります。

3) 自然環境、景観と防災等に関する方針

自然環境

- ・日本海側の自然海岸、集落や農地の背後に広がる森林の保全に努めます。
- ・宍道湖における水辺の動植物の生息環境保全を促進します。

景観

- ・宍道湖沿岸地域は、出雲市景観計画において景観形成地域に指定されており、今後とも景観形成基準に基づき、穏やかな宍道湖の景観と、湖岸に広がる農村の美しい景観の保全に努めます。
- ・平田船川の潤いのある河川景観の保全に努めます。
- ・一畑薬師と結ぶ市道妙見一畑山線は、宍道湖や大山の美しい景観が望める展望スポットの確保や道路景観整備に努めます。

防災

- ・集落地周辺における地すべり、砂防指定地における土砂災害の防止対策の促進に努めます。

